



那覇市立教育研究所

所報第13号

平成22年 2月 22日
那覇市金城3-5-3
所長 池間生子

「学んでいます」

所長 池間生子

半年間の研修期間も残り一ヶ月半となった。テーマ検討会から四ヶ月をかけ原稿内容も整ってきた。

研究員も指導主事も、指導要領を熟読し参考文献をめぐる。そして、その研究内容の検証のために授業に臨む。そんな四ヶ月を過ごしてきた。

まとめた原稿で気になる項目を中心に、研究員とやりとりをしながら、「これで書き表すことができた」とお互いに納得し全文を読み返してみると、今度は、前回の検討会では気にならなかった文章や項目の内容が気になり、はたと立ち止まってしまう。

そんな時、研究員の日誌を読ませてもらうことにしている。

「今日も一日原稿とにらめっこしながら、自分の言いたいことは書いているのかを考えながら読みました。ですが、実際には自分ではよく分かりません。指導主事の先生に指摘されるようになるほどと思うのですが、自分の考えを文章にして人に伝えるということがこんなに大変だとは思いませんでした。」

迷ったので、学習指導要領解説書を読み返しました。前回は気にならなかった文言や記述が目につき、見方が違ってきたかなと感じました。

当初読んだ資料を改めて読み返した時、同じ内容であっても自分の捉え方が変化していることに気がつくというものは何らかのかたちで「学んだ」ということである。気になる箇所を修正することで、気持ちの中では平均点に達していたはずの項目の足りない点が目につき修正せざるにはおれなくなる。

そのような「学び」を繰り返しながら、もうすぐ修了式を迎える。

研究所生活を淡々と綴った日誌の中に「学び」を感じ取ることができるよう、また、フアイトがわいてくる。

那覇地区学力向上対策実践報告会

平成22年2月4日(木) 浦添市でだこホール
那覇地区における、各学校の取組状況の情報交換をすることができました。



後期教育研究員 検証授業 - 保育

【田島 剛】 平成22年1月19日(火) 那覇市立安岡中学校

テーマ 「既習の数学を利用しようとする生徒の育成」
～学び直しの機会を生かした関数の授業を通して～

数 学 1年6組 「反比例」 比例とは違う変わり方をする2つの数量の関係を調べると。



比例と反比例の授業を通して、「学び直し」をすることで、生徒が「既習事項が新しい内容にも有効である」ことに気がつき、自ら既習事項を使うようになるであろうと考え研究をやってきました。検証授業では、生徒の発言や教科書を戻って確かめる姿に、「学び直し」を意識して続けてきた授業の成果を見ることができました。

【宮里美貴江】 平成22年1月21日(金) 那覇市立真地幼稚園

テーマ 「幼児が主体的にかかわる自然環境の工夫」
～五感を働かせることのできる環境を目指して～

幼児教育 5歳児1組 「主体的に自然環境に関わろうとする幼児をめざして」



自然環境への直接体験が不足している園児の実態を踏まえ、幼児が五感を働かせて直接体験を重ねながら、気づいたり、感じたりするという、興味・関心がもてるような環境の構成や援助をしてきました。恵まれた自然環境の中で、幼児が思い思いに遊びながら、気づいたり、発見したり、考えたりすることができた検証保育でした。課題も見えたので、幼児の姿を振り返りながら、研究を深めていきたいと思えます。

【猪野由錦子】 平成22年1月26日(火) 那覇市立城西小学校

テーマ 「自主的・実践的な態度の育成を図る学級活動の工夫」
～質の高まりをめざした話し合い活動を通して～

特別活動 3年3組 「きらきらプランを成功させよう」(学級会)



話し合い活動を重ねることで、子どもたちは、学級会を自主的・実践的に進めることができるようになってきました。

話し合いの中で、一人一人の思いが互いに伝わり、決定したことに納得ができるような質の高い学級会を目指したいと思っています。しかし、今回の検証授業で、教師の役割が不十分で、質の高まった話し合いを支援することに課題が残りました。

中間検討会 II

平成22年1月29日(金) 教育研究所中会議室
研究のテーマ・理論編・実践編・成果と課題における内容や整合性について検討し、今後の研究をより明確にし深めていきます。



中間検討会 II の様子